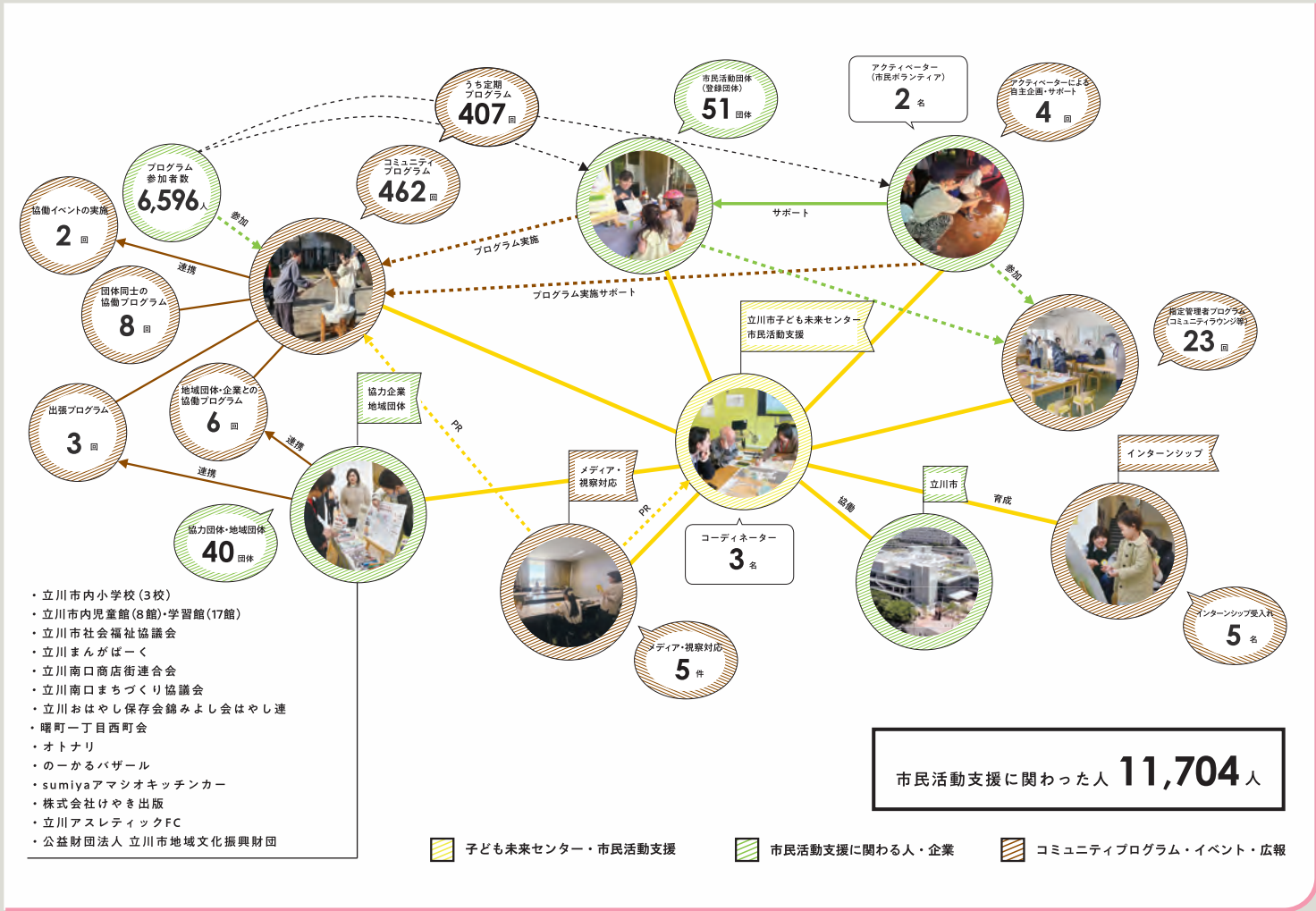


市民活動支援の広がり



一緒に活動しませんか？

子ども未来センター市民活動への参加は、市民活動団体としての活動と、市民ボランティアとしての活動の2種類があります。団体同士の勉強会や、市民ボランティア向けの講座なども開催しています。興味がある方はぜひ、問い合わせフォームよりご連絡ください。

問合せフォーム
はこちらから



最新情報は！ WEBサイトとSNSで随時更新中！

市民活動支援やコミュニティプログラムの最新情報は下記二次元コードより、各WEBサイト、SNSをご確認ください。

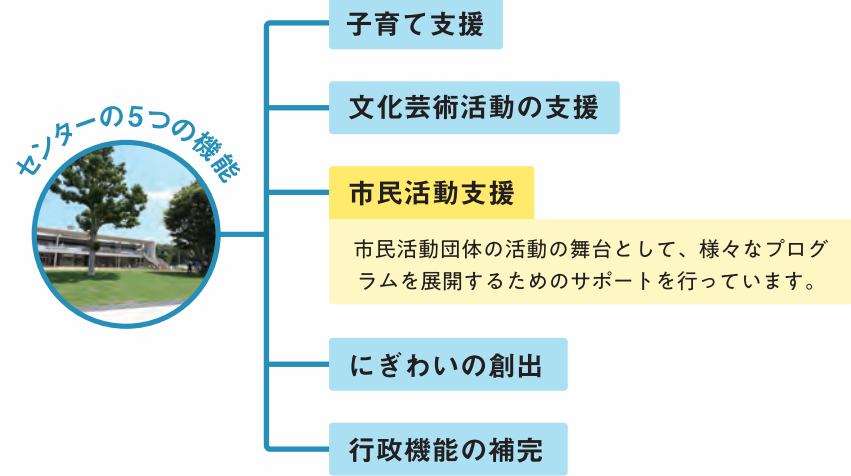


お問い合わせ
立川市子ども未来センター 協働事務室
(指定管理者：株式会社 studio-L)
〒190-0022
東京都立川市錦町 3-2-26 立川市子ども未来センター 2 階
tel. 042-529- 8682 (総合受付) mail. c-program@t-mirai.com

子ども未来センター という場所

市民活動支援について

立川市子ども未来センター（以下、センター）は、子育て・文化芸術活動・市民活動の支援と行政機能の補完、そしてにぎわいづくりの拠点という5つの機能を備えた複合型公共施設です。市民活動支援機能は、センターを中心に様々な主体とのつながりをつくり、活動を広げていくために、市民活動コーディネーターによる支援を行っています。多様な機能を持つことで、地域の様々な世代の方たちが集い、つながることで笑顔が生まれ、立川市の未来につながる活動を支援していく施設となることを目指しています。



コミュニティプログラムについて

センターを中心に地域の様々な場所で市民に向けて提供するプログラムを「コミュニティプログラム」と呼んでいます。参加者同士や団体スタッフとの交流が生まれる仕掛けがあるのが特徴です。地域貢献や公共性はもちろん大切な要素ですが、まずは自分たち自身が愉しめることを作り出してみる。そんな視点で、誰もが気軽に市民活動に取り組めるようになったらいいと考えています。

5つの活動コンセプト

センターで活動する市民活動団体は5つの活動コンセプトを柱としています。この5つのコンセプトはセンターがオープンする前に開かれたワークショップで市民活動団体を中心に話し合い、決定しました。

- 1 多世代が集まる場にしよう
- 2 つなかりを大切にしよう
- 3 社会性を意識しよう
- 4 楽しんで自主的に活動しよう
- 5 魅力的なプログラムをつくろう

市民活動コーディネーターによるさまざまなサポート

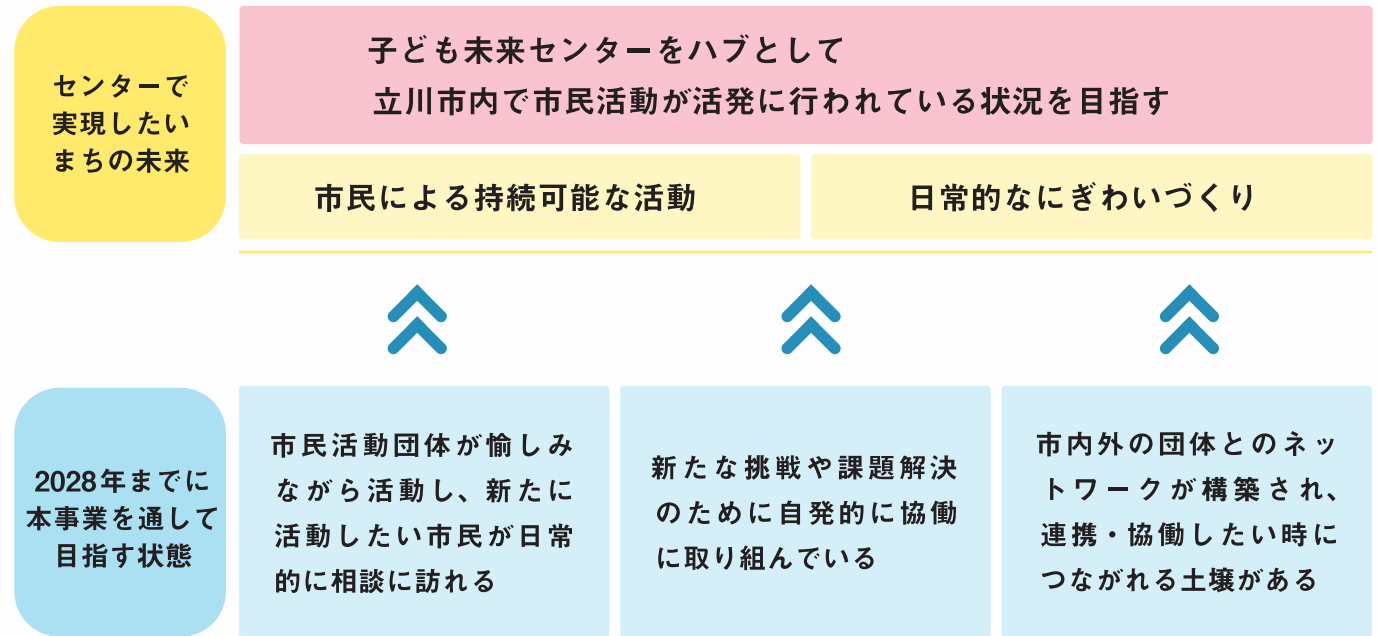
センターでは、市民活動コーディネーターと呼ばれるスタッフが常駐し、市民活動団体によるプログラム実施やその広報支援などを行っています。



- 1 活動したい団体の発掘、ヒアリング、登録
ー 団体の発掘・市民活動支援の説明・事前ヒアリング・登録審査
- 2 プログラムの企画・準備支援
ー プログラム相談対応・会場や備品の予約対応
- 3 センターでの活動の広報・PR
ー プログラムカレンダー・公式LINEの運用・Facebookページの運用・Instagramの運用・視察や取材の対応
- 4 プログラムの実施サポート
ー 写真撮影などの記録・アンケートの配布・とりまとめ
- 5 他団体・地域や企業とのネットワークづくり
ー 懇親会の実施、地域・企業との協働イベントの企画実施
- 6 協働事務室の運営・活用
ー 共有備品の設置・管理

市民活動を通して 描きたい未来

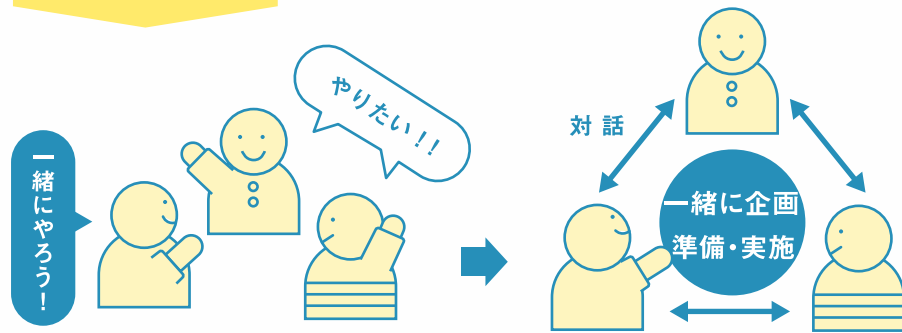
2024年度～2028年度は、「実現したいこと（ビジョン）」の達成のため、以下の3つの状態を目指して活動支援に取り組みます。



市民協働 の考え方

センターでは団体同士、地域団体や企業といった様々な主体との協働に取り組んでいます。協働とは、市民、団体、企業、行政などの様々な主体が、対等な立場で協力・協調して、地域共通の目標達成や課題解決に取り組むことです。互いのスキルや長所を生かし一緒に取り組むことで、これまでできなかったことに取り組んだり、効果を拡大したりします。

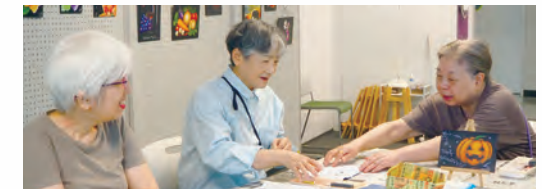
市民協働の考え方



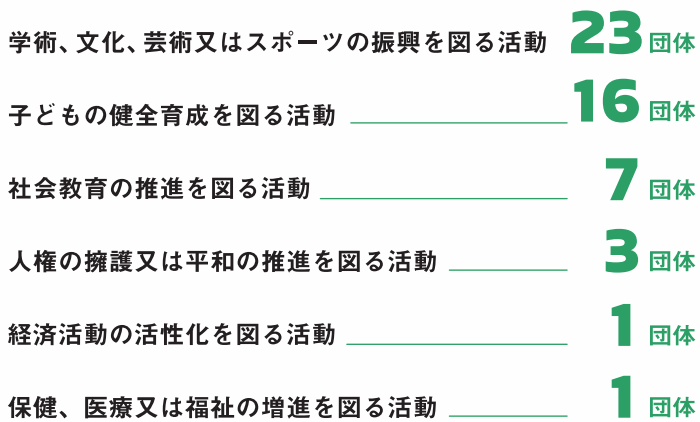


市内 33 団体／市外 1 団体／市内外 17 団体

令和6年度末の時点で、計51団体が登録し、センターで活動しています。今年度は、活動を派生させ、新たな団体として活動を始める人が多い傾向にありました。また、登録団体との協働を経験したことで、センターを拠点に活動する団体が増えるなど、活動する世代やジャンル也多岐にわたります。



登録団体の活動ジャンル



コミュニティプログラムの実施回数



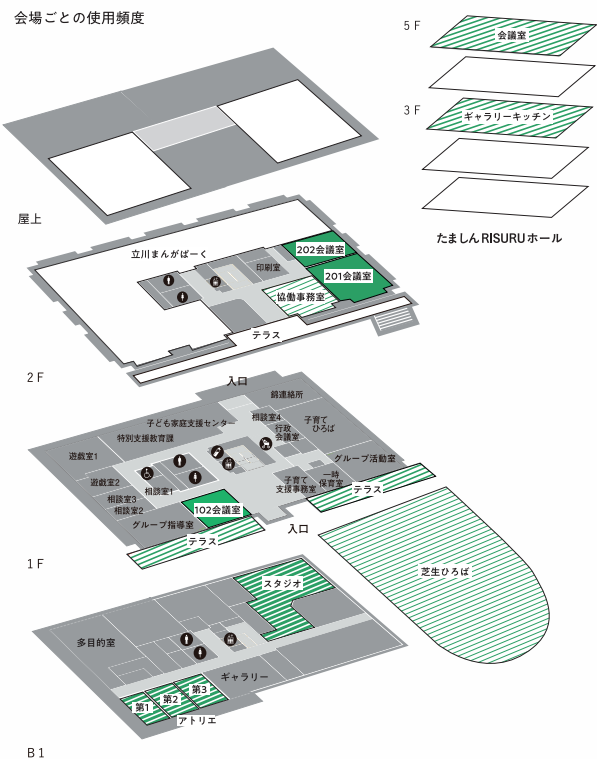
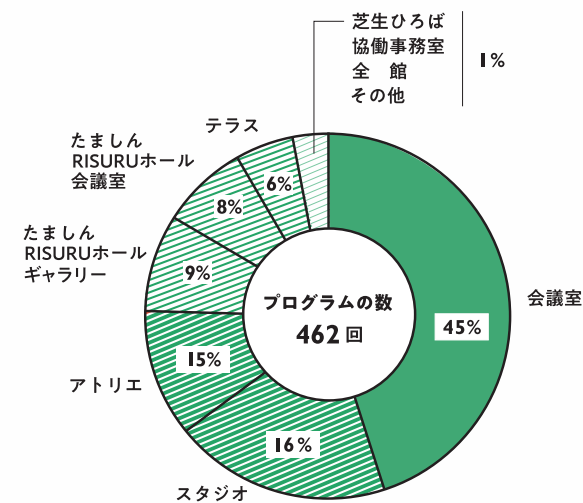
うち定期実施のプログラムの種類 28 種

コミュニティプログラムとは、センターに来館する市民に向けて登録団体が提供するプログラムのこと。見たり聞いたりするだけでなく、参加者同士、または団体スタッフとの交流が生まれる仕掛けがあるのが特徴です。今年度はプログラムの実施回数が過去最多となったほか、出張プログラムの回数も増え、活動がセンターを拠点に地域へ広がっています。



エリア別プログラムの実施状況

今年度は、毎年利用の多いセンターの会議室、スタジオ、アトリエに次いで、隣の施設「たましん RISURU ホール（以下、RISURU）」のギャラリーと会議室の利用が増えた1年でした。RISURU のギャラリーでは、ヨガや太極拳などのスポーツ系のプログラムの他、アートプログラムも多く実施されました。



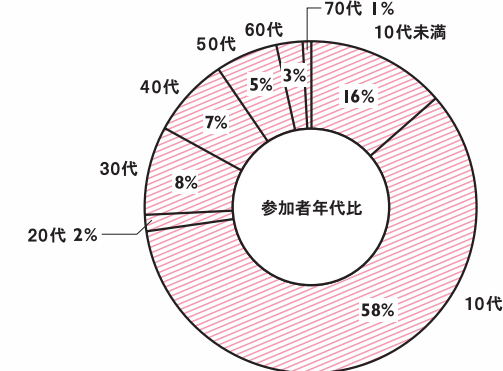
コミュニティプログラムの参加者数



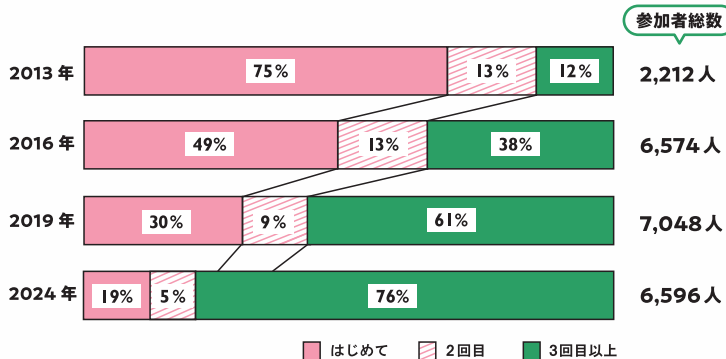
コミュニティプログラムの参加者の傾向として、10代までの参加者が半数以上を占め、次いで30～40代までの子育て世代が多いことが特徴として挙げられます。また、8割以上の参加者がこれまでに複数回プログラムに参加しており、センターが日常的な場所として利用されています。

プログラム参加者の傾向

参加者年代比



参加者のリピート率と参加者数の変化



さらに協働を意識した活動に

自分たちだけではできないことも、他の団体と力を合わせることで実現できる。協働や連携することで、互いのスキルを活かして、新たなことに挑戦し、活動の幅を広げることができます。今年度は、団体同士だけでなく、地域団体や企業などと連携したプログラムも実施されました。



親子向けに文化芸術体験を実施する団体と書道文化を広める団体が実施した大筆体験
[あそびのたまはこ「秋風アートピクニック」by NPO 法人立川子ども劇場（協力：筆と遊ぶ）]



登録団体有志で実行委員会を立ち上げ、全館でプログラムを実施
[〇〇わんぱく 2024 by 〇〇わんぱく実行委員会]



近隣自治会の防災イベントでのヨガ体験
[にわヨガ@防災フェスタ by 東京にしがわ大学]



登録団体OBによる音楽プログラム
[さんさんガーデン2024「一夜限りの復活!オトナリ at たちかわ」by オトナリ]



プログラムを巡ってシールを集める館内回遊ラリー
[みらきちぐんぐん大作戦「ぐんぐんシールラリー」by 登録団体有志]



公園での地域イベントに出張した読み聞かせ
[諏訪の森マルシェ「絵本と紙しばいを楽しもう!」by 絵本208]



クリスマスがテーマのリトミック&クラシックバレエプログラム
[リトミック&バレエ 親子と一緒にクリスマス]
by NPO 法人ソレイユリトミック、Tachikawa Art Club]



コーディネーターによる登録団体向けチラシのつくり方勉強会
[デザインツールを使って、チラシをつくらう! by 市民活動コーディネーター]



市内で活動する子育て団体との交流会
[いれたち交流会「わ!わ!わ!たちかわ〜立川の子育て団体を知ろう!話そう!〜」
by 子育て・いれかわりたちかわり実行委員会（協力：わんぱく親父の会、キラリっ子ファミリーカフェ）]



近隣自治会を招いたおはやしの演奏と体験会
[さんさんガーデン2024「おはやし演奏と体験会」by 立川おはやし保存会 錦みよし会はやし連]